

BOOK

COMMUNITY TRAVEL GUIDE VOL.1

『海士人』

隠岐の島・海士町 人々に出会う旅



[著者] COMMUNITY TRAVEL GUIDE編集委員会
[出版社] 英治出版
[サイズ] B6 [ページ] 112頁
[価格] 800円+税
[発売日] 2012年5月28日

●内容<Contents>

- ・海士町ってどこ？
- ・島旅の掟7か条ほか、旅を楽しむヒントがたくさん！
- ・山内道雄海士町町長をはじめ、旅館のご主人や崎のお母さん、ヘアースalonを50年以上営むご主人など、
- ・海士町住民総勢148名を紹介！
- ・見やすい「海士町MAP」も掲載

『COMMUNITY TRAVEL GUIDE VOL.1～海士人～』は、島根県隠岐島・海士町に住む人々との出会いを楽しむ、新しい旅のガイドブックです。「ないものはない」をスローガンとした海士町の魅力を、町に住む総勢148名の人々を通じて紹介しています。

町のカリスマ町長・山内道雄氏や観光協会の名物娘コンビをはじめ、老舗旅館の4代目主人や崎地区で梅を育てる崎のお母さんたちなど、個性豊かで魅力的な海士町の人々をカラー写真つきで紹介しています。ほかにも、地元民だけの穴場を紹介したり、見やすい地図を掲載したりと、海士町の人々に出会う旅の楽しみ方の提案が盛りだくさんです。

流行のモノや娯楽は何もないけれど、自然の恵み、人間関係、ゆったりとした時間など、人が人らしく生きるために大切なものは何でもある島、海士町。魅力的な生き方をする人々の住むこの島に、遊びに行ってみませんか？

『COMMUNITY TRAVEL GUIDE』とは

今までになかった、人々との出会いを楽しむ旅のガイドブックです。史跡・自然・宿・土産物等を見学・消費するだけでなく、地域の人との出会いや交流を楽しむ、新しい旅のスタイルを提案します。このガイドブックを通じて、魅力的かつ個性的な生活を送る地域の人々を応援し、地域観光を盛り上げ、ひいては地域経済の活性化を目指します。「COMMUNITY TRAVEL GUIDE」は、haku hodo i+dを中心とする「COMMUNITY TRAVEL GUIDE編集委員会」が制作しています。

haku hodo i+d とは

haku hodo i+dは、「社会の課題に、デザインの力を。」を合言葉に2012年4月に設立された、博報堂内のソーシャルデザイン専門組織。行政・市民・大学・企業が参加し、地域・日本・世界が抱える社会課題に対して、デザインの持つ美と共感の力で解決に挑みます。



読みやすさを追求した書体を使用